



甘楽町  
二十歳のつどい  
会場



甘楽町  
二十歳のつどい  
会場



記念の集合写真 (小幡・秋畑地区)



実行委員の皆さん



# 二十歳のつどい

## PHOTO GALLERY



**二十歳の言葉**  
清水葵葉さん

(二部抜粋) …高校を卒業し慣れ親しんだ甘楽町を離れ、東京の大学に通うにあたって私は一人暮らしを始めました。…アルバイトと両立しながら生活を続ける中で…それらを通して自分がさまざまな人に支えられて生きていることを実感し、社会と深く関わる立場の責任を感じました。

喧噪と雑踏の中にある都会からこの場所に帰ると、ここにいる仲間とともに色鮮やかな日々を過ごした場所がこの甘楽町で本当に良かったと、そう思います。時にはこれから先の未来に不安を感じることもありますが、この場所で育んだ思い出とともに社会の一員として胸を張って過ごせるよう、精一杯努力していきます。



二十歳の言葉

清水葵葉さん

二十歳のつどいが、1月12日に文化会館で開かれ、今年度20歳を迎える114人のうち95人が出席し、新たな門出を祝いました。

実行委員が企画・運営し、恩師からのビデオレター上映や町の特産品などが当たる抽選会が行われ、抽選会の当選者15人が壇上に入り「二十歳の決意」を語ると会場内は大いに盛り上がりました。

イベントの前後には仲間との再会を喜び、写真を撮り思い出話に花を咲かせる姿があらこちらで見られました。



楽山園PR動画を上映後、トークショー&ライブを開催



2021.1.3 Reflect on past events

**20年前の出来事**  
~2004年(平成16年)~

【国内外】  
アテネオリンピック開催  
「冬のソナタ」で韓流ブーム  
新潟県中越地方で震度7の地震

【町内】  
合併問題で甘楽町は自立を選択  
那須分校閉校・秋畑幼稚園閉園

スポーツトレーナーとして活躍します



山田咲楽さん

健康第一に遊びもお酒も楽しみたい



越 悠稀さん

元気に健康に過ごしたいです



吉沢杏未さん

親が誇れるような息子になる



小幡春樹さん

8人に突撃インタビュー!

## 二十歳の思い

毎日笑顔でいられる大人になりたいです



田村祥馬さん

美容師になってたくさんの人をさまざまな形で幸せにしていきたい



田畑千穂さん

人生楽しみたいです



清水龍之介さん

気の使える大人になれるよう頑張ります



実行委員長

山内来海さん



～ 思いをひとつにタスキをつなぐ ～



**多年出場者賞** (10回以上出場者を紹介・敬称略)



◎10回出場  
土屋善史(6区)  
梶本真輝(21区)

◎5回出場  
6人



**社会体育功労者などを表彰**

長年にわたり社会体育などで功労のあった町体育協会役員・選手、令和6年中に各種大会において好成績を取った選手・団体の表彰式が1月1日、文化会館で行われました。

受賞された皆さんを紹介します。(順不同、敬称略、カッコ内は種目)

◎社会体育功労者

田村益見 池田多春 齋田幸宏 山口博己 松井弘美

◎スポーツ功労者

柳澤雄一 高井優子 山内美穂 市川弘文

◎体育協会長賞

(空手道)林 愛莉



◎年度優秀選手

(射撃)八木涼太  
(エアロビ)柳澤遥愛  
(野球)飯塚壮真 金井俐樹  
(陸上)市川沙弥 佐藤李音 諏訪沙枝  
(ソフトテニス)大河原 兜 北川 苺 鈴木權正  
森平莉万理 森平蓮心 渡邊惺矢  
(空手道)林 心優 茂木煌気  
(ハンドボール)熊井戸結彩 田中 綸 松井結愛  
長岡倭真士 吉田壘稀 吉田蓮翔  
(水泳)山田りな

◎年度優秀団体

甘楽中学校女子ハンドボール部  
甘楽中学校女子バレーボール部  
甘楽中学校女子ソフトテニス部



**新春の甘楽路を駆け抜ける**



令和7年の幕開けを飾る「第66回甘楽町駅伝競走大会」が1月1日に行われ、15チームが出場し町内1周8区間33.7kmを1本のタスキでつなぎました。



トップでゴールテープを切る21区・茂木優斗選手

**21区が初優勝!!**



■ 梶本由美子監督のコメント

「大会運営に携わっていただいた皆さんには大変お世話になりました。また応援ありがとうございました。初優勝できたことをうれしく思います」

悲願の初優勝を飾った21区チーム

第6中継所では繰り上げスタートを実施



大会結果の詳細は、町ホームページをご覧ください▶



**初日の出マラソン**

恒例の初日の出マラソン(低学年1000m・高学年2025m)が行われました。小学生56人がエントリーし、元気いっぱい2025年がスタートしました。



小学校高学年の部

クラス	順位	氏名	所属
低学年男子	1	小暮颯基	新屋小学校
	2	堀口大翔	新屋小学校
	3	橋本來幸	小幡小学校
低学年女子	1	齋藤穂乃	福島小学校
	2	小暮夏帆	新屋小学校
	3	小林蒼空	福島小学校
高学年男子	1	吉田煌雅	小幡小学校
	2	磯貝鉄心	甘楽グレイフォース
	3	恩田魁琉	甘楽グレイフォース
高学年女子	1	森平陽香	あすなるジュニア
	2	黒澤 華	甘楽グレイフォース
	3	竹内ひなた	福島小学校

上位者(敬称略)



甘楽中学校の取り組み

合唱大会を振り返って

二学期には、保護者の皆さんにも観覧いただき校内合唱大会を開催しました。体育館いっぱいにはすてきなハーモニーが響きわたり、仲間と心を合わせ歌う生徒の姿に心を打たれる素晴らしい大会でした。今回は各クラスの代表生徒に感想を聞きました。(曲目・クラス・氏名の順に記載)

甘楽中学校  
校長 井上高広  
生徒 312人

一年生

【マイバラード】 一組 齋藤未羽



初めての合唱大会は、このクラスのみんで歌えて本当に良かったです。最優秀賞は取れなかったけれど、どのクラスよりも迫力と元気があったと思っています。緊張でテンポが速くなったりはしてしまいましたが、一年一組にとっては良い思い出ができた合唱大会になりました。



[With You Smile]

三組 田村唯都

初めはクラスのために必死で練習して歌っていたけれど、いつの間にか応援してくれた担任の先生や教育実習で来ていた森田先生のためにもという気持ちで歌っていました。本番ではみんなすごく格好良く歌うことができ、最優秀賞が取れました。三組のみんなで力を出されて良かったと実感しています。

二年生

【地球星歌】 笑顔のために



初めは音程やタイミングが合わず、満足のいく合唱ができませんでしたが、練習を重ね意見交換をしていくうちにきれいなハーモニーで合唱できるようになりました。その努力が実を結び、最優秀賞に輝くことができました。



[COSMOS]

三組 堀込梨世

どうしたらみんなが歌いやすくなるか、どうしたら良い合唱を作り上げられるか考えながら、人をまとめることの大変さを学ぶことができました。最後はみんなと一体となることができ、とても貴重な経験ができました。

【旅だの時のAsian Dream Song〜】 二組 坂庭華和

二年二組では、クラス目標の「三冠」を達成しようとする朝の会の前や昼休み、放課後も練習を重ねました。本番ではみんな練習を自信に変えて楽しみながら歌えました。結果は指揮者賞でしたが、目標を追うことができました。



三年生



【春】 一組 松井春樹

僕が合唱大会で思い出に残ったのは本番の後の達成感です。今までたくさん練習をしてきて、衝突したり言い争いになったりもしましたが、最終的には満足のいく結果になり、みんな楽しそうにいろいろと言っていて、とても達成感があったことが一番の思い出です。

【ピカリ】 二組 大河原衣恋

私は合唱大会で最優秀賞を取れたことが思い出です。クラスでは、日々練習に励んだり一人一人の気持ちを書いた学級旗を作ったりしたので団結力が深まりました。みんなの気持ちが一つとなって歌った本番では、今までで一番気持ちのこもった最高の合唱となりました。最優秀賞を取れてとてもうれしかったです。



【虹】 三組 黒澤数真

僕はこの合唱大会で、クラスが一つになった時の大きな達成感を感じました。少しずつ協力してくれる人が増え、パートごとの課題を解決し合い、自分たちの力で個性あふれる合唱にしていきました。本番ではどのクラスよりも自信を持って、しっかりと歌いきる事ができました。

【Gifts】 四組 早川紗羅

今年の合唱大会は、今までで一番良い、思い出に残る合唱大会になりました。同じパートの仲間とたくさん練習し、課題を少しでもなくせるように頑張ってきました。中間発表では、体が震えて思うように歌えませんでした。でも、本番は堂々と全力でみんなと歌うことができました。



「問題の本質」を見極めること

スクールカウンセラーとして新屋小に勤務しています。先日、友人に双子の初孫が誕生しました。大泣きする赤ちゃんを抱っこしている息子さんの姿を見て思わず「あまり泣かせないで、足りなかつたらミルクを足してあげて…」とアドバイスしたそうです。詳しく話を聞くと、母乳とミルクを交互に与えている子をやっているところでした。

教育相談室

◆問い合わせ  
教育課学校教育係  
☎(64)8323

若い夫婦の一生懸命な子育ての様子が目に浮かびます。母乳は一回の授乳で決まった量を与えることはできません。母体の疲労や食事の内容や量によっても変化するので、どのくらい足りないかは不明で、赤ちゃんが泣くことで足りないことに気付くわけです。親側の事情は

いろいろありますが、赤ちゃんからすれば空腹を満たしたいというのが本質です。ちょっと飛躍しますが、子育ての中で、子どもが親の言うことを聞かなくなる、登校を渋る、リストカットをするなど、親を悩ませることがあります。親は起こっている事に象に捉われてしまいがちですが、こんな時子どもの心は今、どんな気持ちなのか、何を求めているのか、「問題の本質」を見極めることが大切だと思います。やみくもに叱ったり、交換条件を出したりするのは控えたいですね。子どもの視線に立って子どもに近づき、様子を見てみると気付かされること、解決の糸口が見えてくることも多々あります。こんな視点に立つことが子どもに寄り添う一歩ではないでしょうか。